

# 四期会総会報告

河野 富士雄 (高校4回)

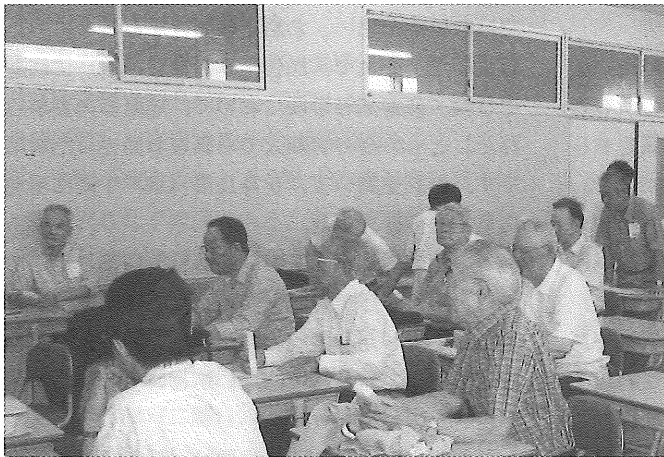
四期生は昭和27年に卒業してから58年、毎年定例会を開くようになってから38回目になります。例年6月第二土曜日夜の開催が定着しておりますが、一昨年の同窓大会から当番学年の10期ずつ上の先輩が当番学年に協力するということになりました。今年の当番は54回ですから、我々は協力学年のトップということになります。「協力」とは要するに同期をなるべく大勢動員すること、と解釈しました。併せて我々の想い出づくりのチャンスとも捉えました。同期世話人協議の結果、今年の四期会総会は同窓大会当日の午後、会場は母校の普通教室、勢いを駆って同窓大会に出ようと決まりました。

9月4日午後4時、半世紀以上昔の生徒会幹部、中丸哲夫元生徒会長、皆川孝一元自治審判委員長が東京、横浜から駆けつけてくれるなど、28名が4年(高1)3組の部屋に集まりました。残暑が

酷暑だったのは想定外でしたが、我々の頃の、冬は寒風、夏は熱風が吹きこむ隙間だらけの木造校舎と違って、クーラーの効いた教室は快適でした。我々が高2のとき、国体サッカーで初の全国制覇を成し遂げた、それに因んで記念品のロゴマーク入りボールペンは現役の中学サッカー班キャプテンから手渡してもらいました。

学校ですから、ここで飲食するわけにはいきません。「総会」だけにして改築されたばかりの素晴らしい体育館を見学してから同窓大会に乗り込みました。同窓大会では、当番学年の温かいご配慮で、開宴に先立つ乾杯に4回生全員をステージに上げてもらいました。私的にも、四期世話人代表として50歳若い人たちと同じテーブルで会議したことは、たいへん嬉しい体験でした。54回の皆さん、いろいろありがとう。

平成22年11月記 河野富士雄(元生徒会副会長)



現在の教室での総会風景



昭和26年頃の校舎